



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第115号 2023年5月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

斜面を彩る花々に目を奪われます



田うない

ちょっと伸びすぎた木を覆う白い花、枝にまとわりつく紫の花など、日ごと次々に咲き移ろっていく花に囲まれ、新緑の匂いに包まれ、地面を這う虫、飛ぶ虫に励まされながら、農作業に熱が入る季節です。

お知らせ

総会 5/28(日)13時半 ~
鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室
総会終了後、懇親会を開催します。



**ホタルの紙芝居を読んでもらえる
ボランティアの方募集!**



谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが生息しています。ホタルを觀賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

お申し込み&お問い合わせは事務局まで
電話 or Fax or メールにて

今年の冬は寒かったのですが、3月になってから記録的な暖かさが続き、10日ほど早く季節が進んでいます。桜は3月下旬で満開になり、4月中旬から藤やツツジが咲き始めてしまいました。急激な温度変化は近年の傾向で、春や秋が短くなってきたようです。

アカガエルの卵の保護をして3年目になり、成果が出てきました。一時は100個ほどだった卵が今年は290個になり、元の数に回復しつつあります。一方で、ヒキガエルの産卵がほとんどありませんでした。アライグマに親のカエルが捕食されているのか、近年ヒキガエルの減少が著しくなっています。

●田んぼの畦（あぜ）と畔（くろ）

畦も畔も同じに思われがちですが、谷戸の田んぼでは、畦と畔を区別します。畔は



“くろ”と呼んでいます。幅が広くて通路に使うのが畦、幅が狭くて田んぼの段差を仕切っているのが畔です。畦は歩けますが、畔は崩れやすいのでなるべく歩きません。そのせいで畦と畔では違う植物が育ちます。畦には土手と同じような植物がありますが、畔には田んぼにしかない植物が見られます。夏に畔のふちにびっしり生える緑色のヒデリコや、秋に薄紫色の花を一面に咲かせるミゾカクシなどがあります。また、畔は田植えの前に、水漏れを防ぐため、畔切りと畔塗り（畔つけ）という作業をします。毎年、同じ部分を削ってから泥を塗って作り直すので、そこにも独特の植物が育ちます。春4月頃になると黄色いオオジシバリという花が畔に一面に咲きますが、よく見ると、畔切りと畔塗りをする片側だけに生育しています。畔の両側で植物の種類が変わってくるのです。このように、畦と畔を区別して、畔の手入れを昔ながらに続けていると、田んぼらしい植物が守られていくようです。

他所にも公園の中で田んぼを続けている場所がありますが、畦と畔が同じ扱いになっていたり、畔が板で囲われたり、畔そのものがなくなってプールのような田んぼになっているところもあります。田んぼを残すだけでなく、昔ながらの農法を継続することが里山の自然のために大切なのでしょう。



各班のお知らせ

田んぼ班


去年収穫した籾を塩水選し、浸種すること10日間、かわいい芽が出た種籾を苗床に蒔きました。育つ間に田んぼの準備。田うない、くろつけ、しろかきと、6月の田植えに向けて一年のスタートです。

雑木林管理班

今期予定した、雑木林の除間伐、薪作り、竹林整備と、すべての作業が完了しました。しばらくは田んぼ班に合流します。田植えが終わってから、土手の手入れで活動を再開する予定です。

畑班

不耕起栽培にすると人手がかからず、土壌環境の改善になるという。しかし、谷戸の畑では昔ながらの景観の維持のために鍬やスコップによる耕し、施肥、そして草刈り・草取りを行っていききたい。

 4/10 たのくろ豆予定地の荒起こし



農芸班


谷戸まつりでお馴染みの「谷戸の梅干し」。可憐な白い花をいくつも付けていましたが、今年の実のなりはどうでしょう。活動は6月の梅もぎから始まります。手作り梅干しに挑戦したい方、是非ご参加ください。

生態系保全班


田畑の周辺の手入れをすることで、生きものを守っています。今年の春は、水路沿いのササ刈り、水路の手入れを行いました。また、田んぼの泥上げ作業などをして、田んぼが干上がらないようにしています。

自然遊び班

「父と子の里山体験」では、親子で伐採体験をしました。しっかり木の重心を考え、受け口、追い口の切り方で、全員で協力してロープを引っ張り伐倒。とても一体感があり楽しかったです。焚火も見学しました。

 3/5 父と子の里山体験



 4/12 ヒメオドリコソウ除去作業

植物育成班

ヒメオドリコソウなどの帰化植物が増え、ホトケノザなどが減少しています。在来の植物を守るため除去作業を行っていきます。毎年行うことで減少傾向が実感されるため、続けていきたいと思ひます。

谷戸の生きもの

アリグモ

アリのふりして・・・

一番前の足 2 本を持ち上げて触角に見せかけることにより一見 6 本足のアリようだ。しかし実際は 8 本足のれっきとしたクモ。本人（虫）に聞くまでもなくアリに擬態していることは間違いないが、なぜなのかははっきりしていない。“外敵から身を守るため”という説が有力だ。しかし、私の推理は違う。アリのふりをして獲物に近づき、油断しているところを急に襲うのだ。写真は大きな上あご（正式には鋏角：きょうかく）でハエ？を捕らえたオスだが「卑怯だろ！」と言っているように見えないか。メスはよりいっそうアリに似ている。（たのくろまめお）



ムシクソハムシ

糞のふりして・・・

“虫糞ハムシ”の意味だ。なんとも気の毒な名前だが、それに擬態しているのだからむしろ本望かもしれない。大きさは約 3 ミリ。これ以上の擬態はないのではないかと。植物の上には圧倒的に本当の虫の糞が多く、その中でこのハムシを見つけると嬉しくなる。見分けるポイントは匂いではなく足があるかどうか（幽霊と逆ね）。目のいい私でもちょっと見では見間違ふこともある。先日、とりあえず撮影して家へ帰ってゆっくり拡大して見たら、本当の虫の糞で思わず「くそ！」と言ってしまった。（たのくろまめお）

谷戸往来

「倉庫新設」～鎌倉市みどり公園課、 (公財)鎌倉市公園協会協力により～

倉庫を新たに設置し、足踏み脱穀機、唐箕が保管できるようになりました。山崎の方々から寄付していただいた貴重な農具を、市民の皆さまにお披露目したく、農家風休憩舎にも一部展示しています。





かっちゃんの紙芝居



昭和10～20年代に山崎の谷戸で幼少期を過ごした、会員の川上克己さんを題材にした「かっちゃんの紙芝居」には、お手伝い編と遊び編があります。今回はお手伝い編の中から農作業にまつわるお話の一部を紹介します。今も変わらない手法で私たちも農作業をしています。例えば、田うないで使っている「まんのう」は、今では金物屋でも手に入りにくい道具となってしまいました。しかし当会では、田うないには欠かすことのできない道具として「まんのう」を大切に使い続けています。

田うない



「5月の節句前後は、田うない、たこぎり、しろかき。一番疲れる仕事がすべて終わったところにあんちゃんはややく手を出すので、そこでバトンタッチだ。」

田植え



「パイスケに入れて天秤棒で運ぶのは俺の役目だ。バランスをとりながら田のくろを歩いて、母ちゃんや姉ちゃんが植えている田んぼに運ぶのだ。俺は運ぶ仕事がなくなると、こまごました雑用をする。」

稲刈りの頃



「うちの田んぼがある場所は遠い。片道2キロ近くある。1日5回もリヤカーで往復しなければならないのだ。田んぼまでは緩い坂道になっていた。リヤカーは重い。道もでこぼこだった。」

絵は内山隆史画伯によるものです。

本文の一部を抜粋しています。

谷戸まつり、体験学習、里山探検隊などで上演しています。

* 紙芝居は大小2サイズ、DVD、絵葉書なども当会にて販売しています。

5月

- 3日(祝・水) 田 田うない
植 帰化植物の除去作業
講座「谷戸の茶摘み」☆
- 7日(日) 田 畔草刈り、苗床草取り
- 10日(水) 畑 畑の整備 ♣
- 14日(日) 田 くろつけ
畑 さつまいも畑の畝作り ☆
自 こども里山一日体験 ▶
「さつまいもの苗植え」
- 17日(水) 生 初夏のチョウと鳥観察
- 20日(土) 田 くろつけ
- 21日(日) 田 くろつけ ☆
- 28日(日) 田 しろかき ♣
- 29日(月) 畑 さつまいもの苗植え ☆
- 31日(水) 畑 落花生の種蒔き ♣

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
(農芸班、自然遊び班は、10時~)
▶ 会員以外の方 参加費500円/組
夜の自然パトロール
18:30 山崎口しし前集合 20:30 頃まで

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
農：農芸班 自：自然遊び班
生：生態系保全班 植：植物育成班

6月

- 3日(土) 田 しろかき ☆
生 夜の自然パトロール ♣
- 4日(日) 田 紐張り、エブリかけ
- 5日(月) 青空自主保育やんちゃお保全活動
- 7日(水) 植 クズの除去作業
農 梅干し作り(梅収穫・下漬け) ♣
- 10日(土) 田 苗取り、田植え
- 11日(日) 田 田植え ♣
- 12日(月) 畑 たのくろ豆の種蒔き ☆
- 17日(土) 田 苗取り、田植え、紐張り☆
生 夜の自然パトロール ♣
- 18日(日) 田 田植え ♣
自 里山探検隊「春の谷戸しごと」
- 21日(水) 畑 じゃがいも掘り
植 野草の植えこみ作業
- 25日(日) 田 田の草取り、補植
雑 土手の手入れ ♣ ☆
講座「不耕起農」☆
青空自主保育なかよし会保全活動
- 26日(月) 畑 長ねぎの移植 ☆

7月

- 1日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
- 2日(日) 田 田の草取り、苗床片付け ♣
雑 土手保全のための草刈り ♣
- 3日(月) 畑 にんじんの種蒔き ☆
- 5日(水) 植 土手の草刈り作業
- 8日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
- 9日(日) 田 田の草取り、畔の草刈り
雑 下草刈り ☆
自 里山探検隊「夏の谷戸しごと」
- 10日(月) 畑 さといもの草取り・土寄せ ♣
- 12日(水) 生 初夏のカヤネズミ調査
- 16日(日) 田 田の草取り ☆
雑 土手の草刈り ♣
- 19日(水) 農 梅干し作り(赤ジソ仕込み) ♣
- 23日(日) 田 田の草取り ♣
雑 雑木林の下草刈り ♣
講座「湿地復元」☆
- 30日(日) 田 田の草取り

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時

ホームページ: <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

- 次号(会報116号)は、2023年7月に発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647

